【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【公開番号】特開2001-157301(P2001-157301A)
【公開日】平成13年6月8日(2001.6.8)
【出願番号】特願平11-332106
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｌ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｌ　1/00　Ｌ

【手続補正書】
【提出日】平成18年11月15日(2006.11.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　充電可能な二次電池を備えた電源手段と、その電源手段から供給される電力によって稼動する電動機と、該電動機を駆動する駆動手段と、該駆動手段および装置全体を監視，管理，並びに制御する制御手段とを有する電動装置であって、
携帯機器を接続可能で、接続された携帯機器に電力を供給する携帯機器用電源手段と、
キーをキー孔に差し込んで回すことによって第１のキー位置（ＯＮ１）及びそれよりさらに回動した第２のキー位置（ＯＮ２）で作動する第２のスイッチ（ＳＷ２）と、該第２のキー位置（ＯＮ２）でのみ作動する第１のスイッチ（ＳＷ１）と、前記第１のキー位置（ＯＮ１）を含む所定の回動範囲でキーの抜き取りを可能にし且つハンドル等の操作系をロックするロック機構と連動するキースイッチとを設け、
前記第１のスイッチ（ＳＷ１）を前記電源手段から前記制御手段及び駆動手段に電力を供給する主電源線に介挿し、前記第２のスイッチ（ＳＷ２）を前記電源手段から前記携帯機器用電源手段に電力を供給する電源線に介挿したことを特徴とする電動装置。
【請求項２】　前記電源手段が、前記二次電池である組蓄電池と、少なくとも該組蓄電池の充放電状況に関する情報を記憶する記憶手段とを対にして構成した充電可能な電池ユニットを備えていることを特徴とする請求の範囲第１項記載の電動装置。
【請求項３】　充電可能な二次電池を備えた電源手段と、その電源手段から供給される電力によって稼動する電動機と、該電動機を駆動する駆動手段と、該駆動手段および装置全体を監視，管理，並びに制御する制御手段と、携帯機器を接続可能で、接続された携帯機器に前記電源手段から供給される電力を供給する携帯機器用電源手段と、その接続された携帯機器との間で情報の伝達を行なう携帯機器用インタフェース手段とを設けた電動装置と、
前記携帯機器用電源手段に接続され、前記携帯機器用インタフェース手段を介して前記電動装置との間で情報の伝達を行ない、前記電動装置から伝達される表示情報を表示する表示手段を備えた携帯機器と
によって構成される電動装置システムであって、
前記電動装置に、該電動装置の動作を許可した後、前記携帯機器へ動作許可情報と該携帯機器に表示が必要な情報とを合わせた表示情報を送出し、その後前記携帯機器からパスワードを受信するとそのパスワードを確認して、それが正しい場合には前記表示情報の送出を継続し、誤っている場合にはその誤りの回数が所定回数に達するまでは前記表示情報の送出を継続し、該所定回数に達すると該電動装置の動作を禁止する手段を設け、

前記携帯機器に、前記電動装置から前記表示情報を受信するとそれを確認し、該表示情報が正しければ予め決められたパスワードを前記電動装置へ送出した後、前記表示情報を処理して表示し、正しくなければ正しくない表示情報の受信回数が予め決められた回数に達するまでは、前記パスワードを前記電動装置へ送出した後次の表示情報の受信を待ち、正しくない表示情報の受信回数が予め決められた回数に達すると、前記パスワードを異常なデータに書き換えて異常表示を行なった後、その異常なデータを前記パスワードに変えて前記電動装置へ送出する手段を設けたことを特徴とする電動装置システム。

【請求項４】　請求項３記載の電動装置システムにおいて、

前記携帯機器に、そこで稼働するプログラムのＩＤデータを前記電動装置へ送出する手段を設け、

前記電動装置に、前記携帯機器から受信したＩＤデータに基づいて、該電動装置の動作の可否を判断する手段を設けたことを特徴とする電動装置システム。

【請求項５】　請求項３記載の電動装置システムにおいて、

前記携帯機器に、入力されるパスワードを前記電動装置へ送出する手段を設け、

前記電動装置に、前記携帯装置から受信したパスワードに基づいて、該電動装置の動作の可否を判断する手段を設けたことを特徴とする電動装置システム。

【請求項６】　請求項３記載の電動装置システムにおいて、

前記携帯機器に、そこで稼働するプログラムのＩＤデータを前記電動装置へ送出する手段と、入力されるパスワードを前記電動装置へ送出する手段とを設け、

前記電動装置に、前記携帯機器から受信したＩＤデータとパスワードとに基づいて、該電動装置の動作の可否を判断する手段を設けたことを特徴とする電動装置システム。

【請求項７】　請求項６記載の電動装置システムにおいて、

前記電動装置に、前記電源手段から前記携帯機器用電源手段への電力の供給を制御するスイッチと、前記携帯機器から受信したＩＤデータとパスワードの少なくとも一方が予め登録されたＩＤデータ又はパスワードと一致したときに、前記スイッチをオンにして前記携帯機器用電源手段からの電力供給を可能にする手段とを設けたことを特徴とする電動装置システム。

【請求項８】　請求項３乃至７のいずれか一項に記載の電動装置システムにおいて、

前記携帯機器に、入力された動作モード指定情報を前記電動装置へ送出する手段を設け、

前記電動装置に、前記携帯機器からの動作モード指定情報に応じて、該電動装置の動作及び／又は前記携帯機器用電源手段の動作を制御する手段を設けたことを特徴とする電動装置システム。

【請求項９】　前記電動装置の電源手段が、前記二次電池である組蓄電池と、少なくとも該組蓄電池の充放電状況に関する情報を記憶する記憶手段とを対にして構成した充電可能な電池ユニットを備えていることを特徴とする請求項３乃至８のいずれか一項に記載の電動装置システム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

【課題を解決するための手段】

この発明は上記の目的を達成するため、次のように構成した電動装置及び電動装置システムを提供するものである。

この発明による電動装置は、充電可能な二次電池を備えた電源手段と、その電源手段から供給される電力によって稼動する電動機と、その電動機を駆動する駆動手段と、その駆動手段および装置全体を監視，管理，並びに制御する制御手段とを有する。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
そして、携帯機器を接続可能で、接続された携帯機器に電力を供給する携帯機器用電源手段と、キーをキー孔に差し込んで回すことによって第１のキー位置（ＯＮ１）及びそれよりさらに回動した第２のキー位置（ＯＮ２）で作動する第２のスイッチ（ＳＷ２）と、該第２のキー位置（ＯＮ２）でのみ作動する第１のスイッチ（ＳＷ１）と、前記第１のキー位置（ＯＮ１）を含む所定の回動範囲でキーの抜き取りを可能にし且つハンドル等の操作系をロックするロック機構と連動するキースイッチとを設け、上記第１のスイッチ（ＳＷ１）を上記電源手段から上記制御手段及び駆動手段に電力を供給する主電源線に介挿し、上記第２のスイッチ（ＳＷ２）を上記電源手段から上記携帯機器用電源手段に電力を供給する電源線に介挿したことを特徴とするものである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
上記電源手段が、上記二次電池である組蓄電池と、少なくともその組蓄電池の充放電状況に関する情報を記憶する記憶手段とを対にして構成した充電可能な電池ユニットを備えているとよい。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
また、この発明による電動装置システムは、充電可能な二次電池を備えた電源手段と、その電源手段から供給される電力によって稼動する電動機と、該電動機を駆動する駆動手段と、該駆動手段および装置全体を監視，管理，並びに制御する制御手段と、携帯機器を接続可能で、接続された携帯機器に前記電源手段から供給される電力を供給する携帯機器用電源手段と、その接続された携帯機器との間で情報の伝達を行なう携帯機器用インタフェース手段とを設けた電動装置と、
上記携帯機器用電源手段に接続され、上記携帯機器用インタフェース手段を介して前記電動装置との間で情報の伝達を行ない、上記電動装置から伝達される表示情報を表示する表示手段を備えた携帯機器と、によって構成される電動装置システムであって、
上記電動装置に、該電動装置の動作を許可した後、上記携帯機器へ動作許可情報と該携帯機器に表示が必要な情報とを合わせた表示情報を送出し、その後上記携帯機器からパスワードを受信するとそのパスワードを確認して、それが正しい場合には上記表示情報の送出を継続し、誤っている場合にはその誤りの回数が所定回数に達するまでは上記表示情報の送出を継続し、その所定回数に達すると該電動装置の動作を禁止する手段を設け、
上記携帯機器に、上記電動装置から上記表示情報を受信するとそれを確認し、その表示情報が正しければ予め決められたパスワードを上記電動装置へ送出した後、上記表示情報を処理して表示し、正しくなければ正しくない表示情報の受信回数が予め決められた回数に達するまでは、上記パスワードを上記電動装置へ送出した後次の表示情報の受信を待ち、正しくない表示情報の受信回数が予め決められた回数に達すると、上記パスワードを異常なデータに書き換えて異常表示を行なった後、その異常なデータを上記パスワードに変えて上記電動装置へ送出する手段を設けたことを特徴とする。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
次に、この第１の実施形態の動作について説明する。
キースイッチ６は、図に斜線を施して示すＬＯＣＫ位置の範囲でキーを取り外すことができる。そのとき、電動装置１の動作は停止状態で、ハンドル等の操作系のすべてがロックされるが、そのＬＯＣＫ位置内の第１のキー位置ＯＮ１でキーを抜くと、電動装置１はロックされた状態を維持したまま、第２のスイッチＳＷ２はオンになり、携帯機器用電源手段７に電力が供給され、携帯機器１０への電力供給が可能になる。